

(平成 29 年 7 月試験研究業務月報)

試験研究課題：マーケットインを実現する契約栽培の拡大

1 加工用キャベツの長期安定出荷技術の確立

研 究

10月収穫をめざしたキャベツの品種比較試験を開始

当センターでは、マーケットインを実現するために契約野菜の生産性、品質性の高い栽培技術の構築を進めています。

その中の課題の一つとして、7月16日に秋冬どりの加工用キャベツの栽培技術の確立に係る定植作業を行いました。

10月に収穫するための作型では、育苗から生育期全般が高温期にあたるため、もともと冷涼な気候を好むキャベツにとって過酷な条件での栽培となります。そのため、現在栽培されている品種では、生育不良になったり、玉の肥大が揃わなかったりすることが課題となっています。

そこで、高温期においても収量・品質ともに安定して生産することが可能な品種を選定するため6種類の品種を定植し、10月には収量、品質調査を行う予定としています。



同品種を日付をずらして定植し最適は種期、収穫期の調査をします

農林センター（丹後農業研究所）